

●編集に携わった人々

- 代表 矢ヶ崎典隆 日本大学教授 坂上 康俊 九州大学教授 谷口 将紀 東京大学教授
- 顧問 小原 友行 福山大学教授 五味 文彦 東京大学名誉教授 戸波 江二 早稲田大学名誉教授

阿部 哲久	広島大学附属中学校教諭	島津 弘	立正大学教授	播磨 大作	神戸市立住吉中学校教諭
荒井 正剛	東京学芸大学教授	白川 景子	高知大学講師	東野 茂樹	葛飾区立水元中学校主幹教諭
五十嵐辰博	千葉大学教育学部附属中学校教諭	菅谷 昌弘	札幌市立平岡緑中学校教諭	平松 義樹	愛媛大学名誉教授
石原 光	福山市立東朋中学校教諭	薄田 和弥	札幌市立篠路中学校教諭	藤瀬 泰司	熊本大学准教授
板井 孝司	吉川市立南中学校教諭	鈴木 拓磨	墨田区立両国中学校主任教諭	藤田 淳	港区立高松中学校主幹教諭
伊藤 裕康	香川大学教授	関戸 明子	群馬大学教授	星野 勇悟	大東市立四条小学校首席
李 洪俊	大阪市立南港北中学校教諭	関 裕幸	東京都立小石川中等教育学校主幹教諭	眞壁 佑輔	札幌市立前田中学校教諭
入子 彰子	文京区立音羽中学校指導教諭	高田 孝雄	足立区立東綾瀬中学校指導教諭	松澤 克行	東京大学史料編纂所准教授
上園 悦史	東京学芸大学附属竹早中学校教諭	高野 信	前都山市立明健中学校校長	松田 敏洋	宮崎市立本郷中学校教諭
江関 史明	山形大学教授	高橋 品	千葉大学教育学部附属中学校教諭	松原 宏	東京大学教授
岡部 誠	板橋区立赤塚第一中学校副校長	高橋慎一郎	東京大学史料編纂所教授	三浦 浩	会津坂下町立坂下中学校教諭
岡本 太一	高槻市立城南中学校指導教諭	高山 知機	世田谷区立駒留中学校校長	溝口 和宏	鹿児島大学教授
鬼塚 拓	宮崎大学教育学部附属中学校教諭	田崎 義久	東京学芸大学附属小金井中学校教諭	道場 康智	福井市足羽第一中学校教諭
小野 大助	福山市立城南中学校教諭	谷中 敏彦	高知中学校副校長	峯 明秀	大阪教育大学教授
柏原 正志	福山市立松永中学校教諭	田藤 良昭	千葉市立稲毛高等学校附属中学校教諭	毛利 透	京都大学教授
勝田 俊輔	東京大学教授	丹 咲子	足立区立第七中学校主任教諭	森川 禎彦	福井大学教育学部附属義務教育学校教諭
唐木 清志	筑波大学教授	千葉 功	学習院大学教授	森山 幸一	福岡市立金武中学校教諭
河野真理子	早稲田大学教授	千葉 一晶	中野区立第七中学校主幹教諭	諸富 徹	京都大学教授
木村 博一	広島大学教授	坪田 益美	東北学院大学准教授	山崎 祥雄	慶應義塾中等部教諭
草原 和博	広島大学教授	寺本 誠	お茶の水女子大学附属中学校教諭	山田 秀和	岡山大学准教授
栗原 久	東洋大学教授	東方 広海	福岡市立玄塚中学校主幹教諭	山本 博文	東京大学史料編纂所教授
呉羽 正昭	筑波大学教授	豊嶋 啓司	福岡教育大学教授	湯澤 規子	法政大学教授
兒玉 修	宮崎大学名誉教授	土肥大次郎	長崎大学教授	吉田圭一郎	横浜国立大学教授
近藤沙耶香	江戸川区立小岩第五中学校教諭	内藤 圭太	埼玉大学教育学部附属中学校教諭	吉水 裕也	兵庫教育大学副学長
今野日出晴	岩手大学教授	中尾 学	台東区立上野中学校主任教諭	渡邊 頼史	福山市立城南中学校教諭
佐川 英治	東京大学教授	中北 浩爾	一橋大学教授	鰐淵 翔大	札幌市立栄町中学校教諭
佐久間敦史	大阪教育大学准教授	中平 一義	上越教育大学准教授		
迫 眞也	広島市立井口台中学校教諭	中村 達矢	福岡市立金武中学校教諭		
佐々木隆光	神戸市立唐櫃中学校教諭	新坂 大輔	清瀬市立清瀬第二中学校主任教諭		
佐々木智章	早稲田大学高等学院教諭	西川蘭奈	新宿区立新宿中学校教諭		
佐藤 全敏	東京女子大学教授	西村 広毅	国富町立八代中学校教諭		
佐藤 元基	札幌市立厚別北中学校主幹教諭	蓮沼 圭	台東区立桜橋中学校主任教諭		
重 秀雄	広島市立東原中学校教諭	長谷川義博	所沢市立狭山ヶ丘中学校教諭		
篠塚 昭司	東京学芸大学附属世田谷中学校教諭	服部 一秀	山梨大学教授		
島 珠美	足立区立鹿浜菜の花中学校主任教諭	瀧田 幸伸	高知大学教育学部附属中学校教諭		

●単元構成と配当授業時数

教科書の構成・内容	学習指導要領の内容	教科書該当ページ	配当時数	教科書の構成・内容	学習指導要領の内容	教科書該当ページ	配当時数
持続可能な社会の実現に向けて	A- (1)	巻頭 3-1	1	第5章 開国と近代日本の歩み	C- (1)	148-205	27
第1章 歴史へのとびら	A- (1), (2)	6-17	6	1節 欧米における近代化の進展	C- (1)	150-159	5
1節 歴史をとらえる見方・考え方	A- (1)	8-13	4	2節 欧米の進出と日本の開国	C- (1)	160-167	4
2節 身近な地域の歴史	A- (2)	14-17	2	3節 明治維新	C- (1)	168-185	9
第2章 古代までの日本	B- (1)	18-61	19	4節 日清・日露戦争と近代産業	C- (1)	186-197	6
1節 世界の古代文明と宗教のおこり	B- (1)	20-29	5	●多文化共生都市・神戸(地域の歴史を調べよう4)	A- (2)	200-201	(6)
2節 日本列島の誕生と大陸との交流	B- (1)	30-35	3	第6章 二度の世界大戦と日本	C- (1)	206-249	19
3節 古代国家の歩みと東アジア世界	B- (1)	36-51	8	1節 第一次世界大戦と日本	C- (1)	208-215	4
●大陸への玄関口・福岡(地域の歴史を調べよう1)	A- (2)	56-57	(6)	2節 大正デモクラシーの時代	C- (1)	216-221	3
第3章 中世の日本	B- (2)	62-97	15	3節 世界恐慌と日本の中国侵略	C- (1)	222-231	5
1節 武士の政権の成立	B- (2)	64-73	5	4節 第二次世界大戦と日本	C- (1)	232-239	4
2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	B- (2)	74-87	7	●東京大空襲の記憶を伝える(地域の歴史を調べよう5)	A- (2)	244-245	(6)
●戦国時代の城下町・一乗谷(地域の歴史を調べよう2)	A- (2)	92-93	(6)	第7章 現代の日本と私たち	C- (2)	250-283	14
第4章 近世の日本	B- (3)	98-147	23	1節 戦後日本の出発	C- (2)	252-255	2
1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	B- (3)	100-113	8	2節 冷戦と日本の発展	C- (2)	256-265	5
2節 江戸幕府の成立と対外政策	B- (3)	114-123	5	3節 新たな時代の日本と世界	C- (2)	266-271	3
3節 産業の発達と幕府政治の動き	B- (3)	124-137	7	●広島復興と平和への思い(地域の歴史を調べよう6)	A- (2)	276-277	(6)
●会津藩の政治と産業(地域の歴史を調べよう3)	A- (2)	142-143	(6)	歴史に学び、未来へと生かそう(歴史のまとめ)	C- (2)	282-283	1

※ 予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。

※ 第2～7章の配当時数には、「導入の活動」(1時間)と、「基礎・基本のまとめ」「まとめの活動」(合わせて2時間)も含まれます。

※ 内容A- (2)の「身近な地域の歴史」は、第1章2節のほかに、「地域の歴史を調べよう」の6事例を参考にして6時間を配当することを想定しています。



東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7368(社会編集部) Fax:03-5390-6015

支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722

大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084

ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp 教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp



内容解説資料

この資料は、令和3年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



「新しい社会」の表紙を紹介する動画を公開しています。ぜひご覧ください。





## 「現在」の背景が 理解できる教科書

坂上 康俊



### Profile

坂上 康俊(さかうえ やすとし)  
九州大学教授。  
1955年生。東京大学文学部国史学科卒業。  
日本古代史専攻。  
奈良平安時代史が専門。

■著書／「律令国家の転換と「日本」」、「平城京の時代」ほか。

中学校で学ぶ歴史には、小学校社会科で学んだ、人物や文化財が中心の日本の歴史とはちがい、世界の中の日本の歴史を、時代の流れの中で学ぶという特徴があります。「過去」の出来事に興味を持つ段階から、自然環境や世界の人々との関わりの中で「現在」が形作られてきたことを学び、それを踏まえて持続可能な社会をこれからどのように作っていくかということを考えるように導くのが、中学校で学ぶ歴史といえます。

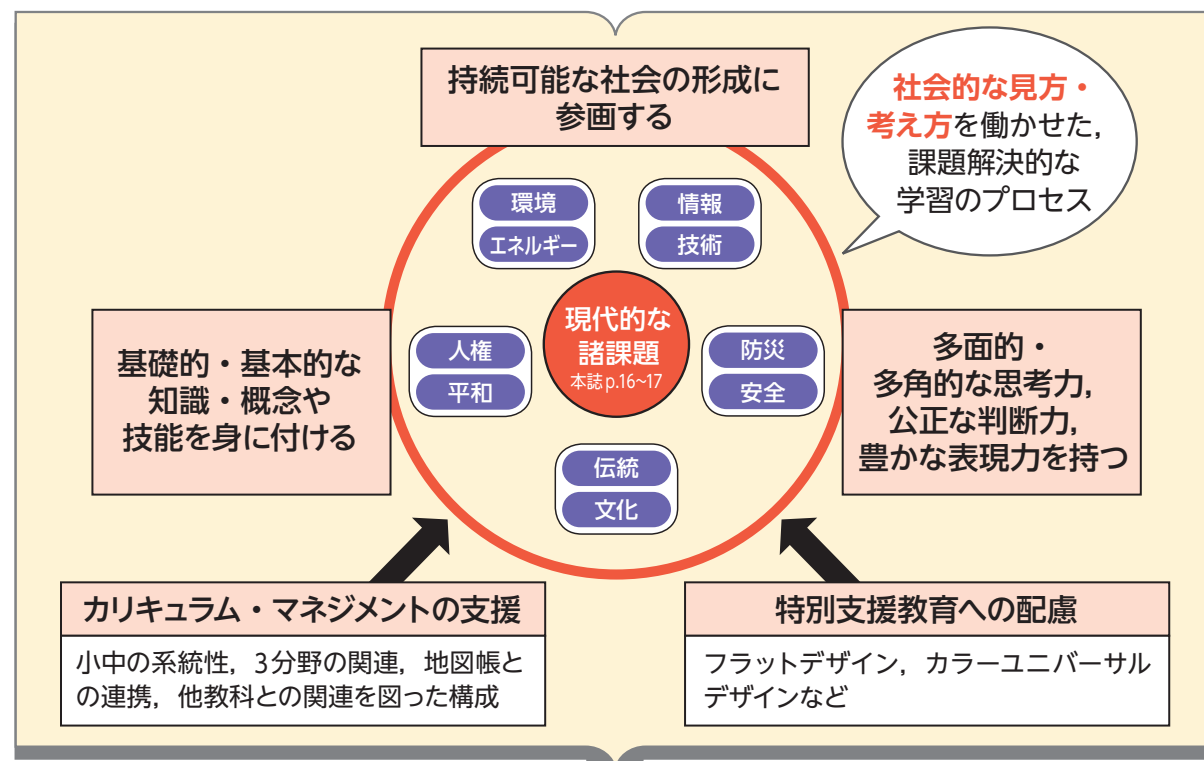
「現在」を理解するには、地理や公民という分野で、地図帳をも活用しながら学ぶことも重要です。しかし、それだけで十分に「現在」を理解し、未来を見通すことができるわけではありません。「現在」の背景には、複雑にからみ合った「過去」があります。この

背景を正確に理解していなければ、異なる考え方を持つ人々の立場を理解し、対話を重ねる中で合意点を見いだしていくことができないでしょう。

今回の教科書の改訂にあたっては、学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」へと生徒を導くためのテキストになるように努めました。この教科書には、歴史の基本的な流れだけでなく、何を根拠にして「過去」をとらえるかという、歴史の方法の初歩も盛りこんでいます。厳選して組み込まれた情報が生徒たちを刺激して、自ら問いを発し、様々な情報を総合しながら、現代的な諸課題を歴史の視点から見つめ直す、その営みの良き導き役となることを願ってやみません。

## 教科書が目指すもの 豊かな学びが未来を拓く

「主体的・対話的で深い学び」を通じて、  
持続可能な社会の実現に向けて  
「今を問い、未来をともに拓く力」を育てます。



## 「問い」を軸に

## 単元のまとまりを重視した紙面構成 単元の「構造化」で課題解決的な学習を実現！

### 1 課題をつかむ

導入

●単元の「導入の活動」で、単元全体を貫く「探究課題」を立て、課題をつかみます。

本誌p.4～5

### 2 課題を追究する

展開

●1単位時間の授業ごとの「学習課題」と「チェック＆トライ」を軸に課題を追究します。

本誌p.6～7

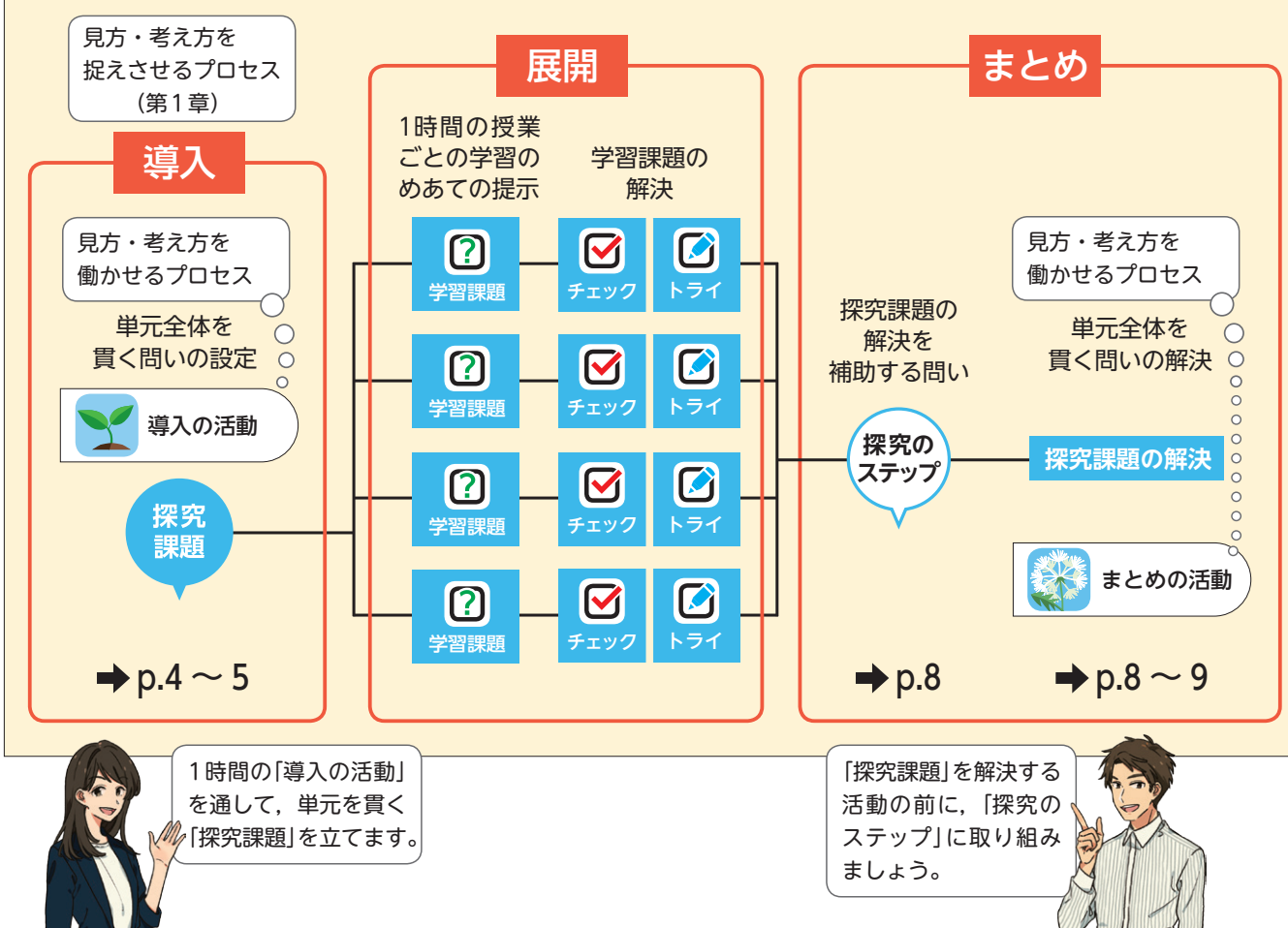
### 3 課題を解決する

まとめ

●探究課題の解決を補助する「探究のステップ」を設けました。  
●単元の「まとめの活動」で探究課題を解決します。

本誌p.8～9

## 「問い」を軸にした単元の「構造化」による課題解決的な学習 ▶ 本誌p.10～11





# 小学校を振り返り課題をつかむ導入の活動

学習活動の流れが  
イメージできるアイコン



導入の活動



基礎・基本の  
まとめ



まとめの活動

## 小学校の 振り返り

- 小学校教科書に掲載した資料に「**小学校マーク**」を付しました。
- 人物や文化財中心の学習から、中学校の通史学習への転換を図るため、小学校での学習事項を**年表**に位置付け、「**歴史の流れ**」を意識できるようにしました。
- 小学校社会科で学習した用語は「**小学校の社会で習った『ことば』**」として掲載しました。

## 第3章 中世の日本



導入の活動

武士の館について探ろう



① 武士の館の様子(想像図)

世紀	11	12	13	14	15
時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	戦国時代
政治	武士団の成長 源頼朝・平清盛 源平の合戦 平氏の政権	源頼朝・平清盛 守護・地頭 鎌倉幕府 執権政治 北条氏 御恩と奉公 一所懸命	北条時宗 モンゴル襲来 元寇	足利義満 室町幕府 能・狂言 金閣	足利義政 銀閣・書院造 雪舟・水墨画
経済・社会・文化					
東アジア・欧米など	中国 朝鮮	宋 高麗	元	明	朝鮮
62					

小学校の社会で習った『ことば』

## 対話的な学習を実践！ 新コーナー「みんなでチャレンジ」

- 小集団の協働的な活動のコーナーとして「**みんなでチャレンジ**」を新設し、対話的な授業を効果的に実践できます。

単元での課題解決的な学習の流れ

導入

展開

まとめ

本誌p.6~7

本誌p.8~9

この章では、平安時代の終わりと室町時代の中ごろまでの時代について学習します。小学校では、武士の暮らしや室町時代の文化を中心に学習しました。ここでは、小学校で学習した武士の館の様子を中心に、中世の武士の様子をとらえましょう。



② 田植の風景(東京国立博物館蔵)

- みんなでチャレンジ
- (1) ①は、地方の武士の館をえがいた想像図です。①を見て、気づいたことや疑問に思ったことを挙げましょう。
  - (2) ①で武士の館の特徴をよく表しているところはどこか、グループで話し合いながら探しましょう。
  - (3) ②と③は、どのような人がどのようなことをしている様子か、グループで話し合いましょう。
  - (4) 資料や年表から、この時代について、知りたいことや疑問に思うことを出し合いましょう。



③ 紙図(山形県 米沢市上杉博物館蔵)

第3章の探究課題は？



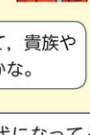
武士はどうして常に戦いに備えなければならなかったのかな。



どうして武士が世の中を動かすようになったのかな。



武士が中心の世の中になって、貴族や一般の人々はどうなったのかな。



この章では、武士の時代になってどのような政治が行われ変化したのか、②や③のような武士以外の人たちや、東アジアの国々との関わりなどに着目しながら追究していきましょう。また、まとめでは、中世と古代とを比べることを通じて、時代の特徴をとらえましょう。

探究課題

中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

探究のステップ

各節の学習では、次の課題を追究していきましょう。

①

なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。

②

東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

## 導入の活動を通して立てる「探究課題」

- 単元全体を貫く「**探究課題**」を、1時間の導入の活動を通して設定します。
- 「**探究課題**」を立てる活動で単元全体の学習に見通しを持たせ、生徒の**主体的な学習活動を促します**。

## 「探究のステップ」で探究課題の解決をサポート

- 「**探究課題**」の解決を補助する問いの「**探究のステップ**」を設けました。
- 単元全体を貫く「**探究課題**」と1時間ごとの学習とをつなぐ「**踊り場(ステップ)**」の問いとして、**円滑に課題解決につなげます**。

## 見通しを持たせる まとめの活動の予告

導入の段階で、まとめの活動を予告することで、単元の見通しを持たせます。

(p.62 ~ 63)



# 見方・考え方を働かせ学びを深める本文ページ

## 興味・関心を高める 導入資料

学習意欲が高まる魅力的な資料を大きく掲載し、生徒の授業への興味・関心を引き出します。

## 1時間の学習の見通しを持たせる 「学習課題」

●1時間の学習で追究する「学習課題」を示し、生徒が見通しをもって主体的に学習を進められます。

## 紙面レイアウトの改善で資料をより大きく掲載！

●レイアウトの改善で、資料の掲載部分の面積を約10%拡大。本文の理解を助ける資料がより大きくなりました。

## 時代感覚を養う 時代のスケール

見開きで学習している時期を示すスケールを入れ、日本の歴史の流れを意識できるようにしています。

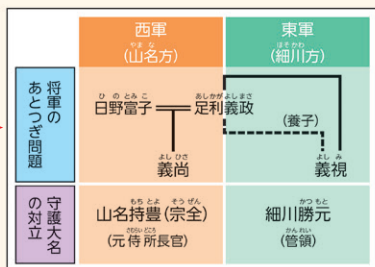


① 応仁の乱(真如堂縁起絵巻 京都府 真正極楽寺蔵) この戦乱には足軽という雇い兵が動員され、京都の多くの寺社や貴族の屋敷が焼かれました。

見方・考え方 ①と、p.66①やp.76①とを比べて、戦い方のちがいを読み取りましょう。

## 6 応仁の乱と戦国大名

② 応仁の乱によって、社会はどのように変化していったのでしょうか。



② 応仁の乱開始時の対立関係



③ 一向一揆の旗(広島県 長善寺蔵 縦88cm) 「進めば往生極楽、退けば無間地獄」と書かれています。

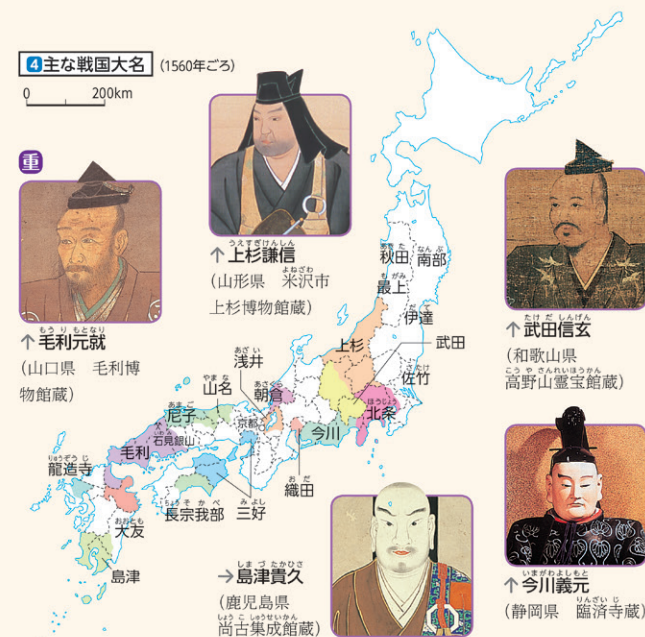
応仁の乱 第8代將軍足利義政のときに、將軍のあとつぎ問題をめぐって有力な守護大名の細川氏と山名氏が対立すると、1467(応仁元)年に応仁の乱が起きました。乱は、いくつかの守護大名の相続争いもからんで、11年の間続きました。東軍と西軍に分かれたこの戦乱は京都から5 全国に広がり、各地でそれまでの支配の仕組みを変える新たな動きが起きました。

社会の変化と戦国大名の登場 応仁の乱後、山城(京都府)の南部では、武士と農民とが一体になって山城国一揆を起こし、守護大名を追いはらって自治を行いました。また、浄土真宗(一向宗)の信仰で結び付いた武士や農民たちが各地で一向一揆を起こし、加賀(石川県)では、守護大名をたおして約100 年にわたって自治を行いました。

応仁の乱で権力を失った將軍は、京都を中心とするわずかな地域を支配するだけになり、天皇や貴族、寺社の領地は各地の15 武士にうばわれました。家来が主人に打ち勝つ下剋上の状況も

## 「深い学び」を効果的に実現する 「見方・考え方コーナー」

●『歴史的な見方・考え方』を働かせ、学びを深められる場面に、「見方・考え方コーナー」を新設しました。



## 歴史にアクセス 堺の自治

堺は大阪湾に面した港町で、南北朝時代から都市の建設が始まりました。中世には中国(明)や琉球との貿易で栄え、近世の初めには東南アジアとの朱印船貿易の基地としてもにぎわいました。堺の町では、豪商と呼ばれる有力商人たちを中心に、住民が自ら町を治める「自治」が行われました。戦国時代に日本にきたイエズス会の宣教師ガスパル・ヴィレラも、「ベネチアのように自治が行われている」と記しています。

読み取る (1)④のうちp.79⑦についていない戦国大名は、家来から主君の地位に変わった者です。それに当てはまる戦国大名を挙げましょう。(2)⑤の分国法の各条文は何のために定められたか、考えましょう。

## ⑤ 分国法の例 (部分要約)

朝倉氏(「朝倉孝景家々」p.92)  
— 本拠である朝倉館のほか、国内に城を構えてはならない。全ての有力な家臣は、一葉谷に引越し、村には代官を置くようにしなさい。  
武田氏(「甲州法度之次第」)  
— けんかをした者は、いかなる理由による者でも処罰する。  
— 許可を得ないで他国へおくり物や手紙を送ることは一切禁止する。



⑥ 石見銀山がのったヨーロッパの地図(上)と、採掘された銀で造られたお金(右)(上: ティセラ/オルテリウス「日本島図」: 部分 大阪府 堺市博物館蔵、右: 島根県立古代出雲歴史博物館蔵 長さ16cm) 石見銀山では、新たな技術によって銀の産出量が増加し、ヨーロッパでも知られるようになりました。(石見銀山遺跡④)

広がりました。やがて、守護大名の家来が大名の地位をうばったり、守護大名が幕府から独立したりして、国を統一して支配する戦国大名が各地に登場しました。応仁の乱以後、幕府が力を失い、各地で戦国大名が活躍した時代を戦国時代といいます。

## 5 戦国大名の支配の在り方

戦国大名は、近くの大名との戦争に備えて、国内の武士をまとめ、強力な軍隊を作りました。それまで山に築いていた城を、交通に便利な平地に築くようにして、城の周辺に家来を集め、商工業者を呼び寄せて、城下町を造りました。また、独自の分国法を定めて武士や民衆の行動を取りしめ、荘園領主の支配を認めず、国全体を支配する新しい政治を行いました。

さらに戦国大名は、大規模な用水路の建設などによって農業を盛んにし、鉱山の開発や交通路の整備に力を注ぎました。また、座の廃止や市場の整備を行って商工業を保護し、国を豊かにしていきました。例えば、石見銀山(島根県)は、戦国大名が保護をあたえた博多の商人によって開発されました。産出された大量の銀は中国に輸出されて世界で流通し、世界の経済に影響をあたえました。

チェック 応仁の乱の後、社会はどのように変化したか、本文からぬき出しましょう。

トライ 戦国大名はどのように国を支配したか、次の語句を使って説明しましょう。[城下町/分国法]

導入

本誌p.4~5

展開

まとめ

本誌p.8~9

## 必要な技能が効果的に 身に付く活動コーナー を新設

情報を集め、読み取り、まとめる技能を身に付ける「集める」、「読み取る」、「まとめる」コーナーを新設しました。

## 読んで分かる本文

事象を捉えやすく因果関係が分かりやすい、平易な記述です。

## 2段階の「チェック&トライ」 で学習内容を 確実に定着！

●基礎・基本を確認する「チェック」と、要約や説明をする言語活動の「トライ」の2段階で「学習課題」を解決。学習内容が確実に定着します。



課題を解決する 単元のまとまりを重視した紙面構成③

思考力・判断力・表現力を高めるまとめの活動

キャラクターの会話の流れで探究課題を解決

- 生徒キャラクターの会話で、生徒が探究課題を主体的に解決するヒントを示しています。
- 先生キャラクターとの会話で、「見方・考え方」を活用した探究課題の解決を促します。

まとめの活動

古代との比較から中世の特色を探ろう

比較

この章では「中世の日本」について学習してきました。中世とはどのような特色を持つ時代だったのでしょうか。ここでは、「政治」「国際関係」「社会・経済」「文化」の四つの側面に着目して、「古代までの日本」と比べることを通じて、この時代の特色をまとめましょう。

みんなでチャレンジ

(1)p.58・94の年表などを参考にして、古代と中世のさまざまな出来事や社会の動きを、次の四つの視点から、それぞれ「Xチャート」にまとめましょう。

①政治：政治の動き  
②国際関係：東アジアにおける交流  
③社会・経済：農業・商工業の発達  
④文化：文化の特色

(2)作成した「Xチャート」を基に、中世がどのような時代だったか、次の形で簡単に表現しましょう。

中世は 時代です。

(3)作成した「Xチャート」や中世の特色をグループ内で発表し合い、意見を交換しましょう。

(4)(3)での発表や意見交換をふまえて、「Xチャート」を、色のちがうペンで修正しましょう。

(5)修正した「Xチャート」や、グループでの意見交換を基に、中世がどのような時代か、改めてまとめましょう。(2)から考えが変わった場合は、その理由も書きましょう。

古代は、飛鳥時代から平安時代までの期間にしぼって考えましょう。時間が無い場合は、古代については右のひろとさんの例を参考にして、中世の「Xチャート」のみを作りましょう。

Xチャートとは？

Xチャートを使うことで、物事を多面的・多角的にとらえることができます。

まず、Xの字に線を引き、それぞれの線の間に、合計四つの視点を示します。そして、線の間にそれぞれ

視点をバランスよく設定することがポイントです。今回は、「政治の動き」「東アジアにおける交流」「農業・商工業の発達」「文化の特色」の四つを示しましょう。

線の間に、それぞれの視点に沿った事項を書き出しましょう。

Wチャート

視点① 視点② 視点③ 視点④ 視点⑤

探究のステップ

1 なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。

2 東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

中世の探究課題を解決しよう

探究課題

中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

「武士による政治」を中心に学習したけれど、時期によってさまざまな人物が活躍したね。

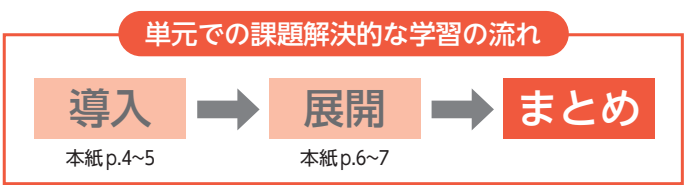
この時代には、武士だけでなく、民衆も成長したね。

古代と同じように、東アジアの国々とさまざまな交流があったね。

武士だけでなく、東アジアの国々との関係や民衆の動きにも着目する必要があるそうですね。

「見方・考え方」を働かせる活動をマークで明示

●「見方・考え方」を働かせる活動には「見方・考え方マーク」を付しました。



教科書で扱っている思考ツールの例

・和同開珎の発行

Xチャート (p.97)

この時代の特色をまとめましょう。

中世は 時代です。

くらげチャートとは？

くらげチャートを使うことで、主張を整理することができます。

まず、くらげの頭の部分に、自分の主張したい結論を記入します。続いて足の部分に、その根拠を記入します。

今回は、重要だと思ふ人物の名前と、選んだ理由を書きましょう。

足の部分(根拠)は、無理に全部うめる必要はありません。また、足りなければ足してもかまいません。

今回は、その人物が行ったことや、社会にあたらせた影響などを書きましょう。

くらげチャート (p.60)

ピラミッドストラクチャとは？

ピラミッドストラクチャは、p.60の「くらげチャート」を、よりくわしくしたものです。

ピラミッドストラクチャを使うことで、主張を整理して、より説得力のある主張をすることができます。「ストラクチャ(structure)」とは英語で「構造」を意味し、主張の構造をピラミッド型に表すことから、このように呼ばれます。

まず、ピラミッドの一番上に、主張したい結論を書きます。続いて2段目に、主張の理由を書きます。3段目には、理由の根拠となる事実を書きます。

今回は、武士・百姓・町人のいずれかを書きましょう。

今回は、1段目の身分を選んだ理由を書きましょう。

2段目と3段目の数は、主張に応じて変えましょう。

今回は、根拠となる出来事や影響などを、一つの理由に対して一つ以上書きましょう。

ピラミッドストラクチャ (p.146)

思考を整理する多様なツールを提示

- 思考の整理に適した多彩な思考ツールを提示しました。
- 主体的に思考・判断した内容を適切に表現する力が身に付きます。

●思考ツールの主な掲載箇所

歴史教科書	思考ツール
p.60	くらげチャート
p.96	X・Y・Wチャート
p.146	ピラミッドストラクチャ
p.204	ウェビング
p.248	ステップチャート
p.280	ランキング



単元のまとまりを重視した紙面構成④

「問いの構造図」で実現する課題解決的な学習

「問いの構造図」とは？

単元のまとまりを意識した「深い学び」につなげるには、学習内容の深い理解を意識した単元を貫く問いの設定が欠かせません。この教科書は、単元を貫く「探究課題」の設定から解決に至る流れを、「問い」を軸に「構造化」しました。これにより、1時間ごとの授業が段階的に「探究課題」の解決につながるように構成されています。その単元の構造を視覚的に示したものが「問いの構造図」です。※「問いの構造図」は「新しい社会 歴史 教師用指導書」に掲載予定です。

課題をつかむ

単元の導入部の「導入の活動」を受けて、資料や年表を用いた活動を通して、単元を貫く「探究課題」を設定します。

第3章の探究課題は？

武士はどうして常に戦いに備えなければならなかったのか。

武士が中心の世の中になって、貴族や一般の人々はどうかになったのか。

この章では、武士の時代になってどのような政治が行われ変化したのか、や3のような武士以外の人たちや、東アジアの国々との関わりなどに着目しながら追究していきましょう。また、まとめでは、中世と古代とを比べることを通じて、時代の特徴をとらえましょう。

探究課題 中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

探究のステップ 各節の学習では、次の課題を追究していきましょう。

① なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。

② 東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

63 (p.63)

導入

課題を追う

1時間ごとの学習のめあてである「学習課題」を提示し、基礎・基本を確認する「チェック」と、要約や説明などをする「ト

ライ」の2段階の問いで、各時間の学習課題を解決していくことで、探究課題の追究を進めます。

6 応仁の乱と戦国大名

応仁の乱によって、社会はどのように変化していったのでしょうか。

② 応仁の乱の後、社会はどのように変化したが、本文からぬき出しましょう。

③ 戦国大名はどのように国を支配したが、次の語句を使って説明しましょう。[城下町/分国法]

(p.84) (p.85)

展開

課題を解決する

探究課題の解決を補助する「探究のステップ」に取り組み、探究課題の答えを考えることで、無理なく課題を解決します。また、「まとめの活動」では、「見方・考え方」を動かしながら、思考ツールを活用して時代の特徴を考察します。

中世の探究課題を解決しよう

探究課題 中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

「武士による政治」を中心に学習したけれど、時期によってさまざまな人物が活躍したね。

この時代には、武士だけでなく、民衆も成長したね。

古代と同じように、東アジアの国々とのさまざまな交流があったね。

武士だけでなく、東アジアの国々との関係や民衆の動きにも着目する必要があるそうですね。

95 (p.95)

まとめ

単元を貫く課題の提示

解決を補助する問いの提示

1時間ごとの問い(学習課題)の提示

学習課題の解決

解決を補助する問いの解決

単元を貫く課題の解決

第3章 中世の日本

p.62 ~ 97

探究課題

中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

p.63

探究のステップ

2節

ユーラシアの動きと武士の政治の展開

東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

p.63・74

1

モンゴル帝国とユーラシア世界

p.74 ~ 75

モンゴル帝国の拡大によって、ユーラシア全体にどのような変化が見られたのでしょうか。

2

モンゴルの襲来

p.76 ~ 77

モンゴルの襲来はどのようなもので、日本にどのような影響をあたえたのでしょうか。

3

南北朝の動乱と室町幕府

p.78 ~ 79

鎌倉幕府がほろんだ後、政治や社会はどのように変化していったのでしょうか。

チェック

モンゴル帝国がユーラシアの各地を支配するために行ったことを、本文からぬき出しましょう。

トライ

モンゴル帝国がユーラシア世界にあたえた影響を、30字程度で説明しましょう。

チェック

モンゴルの襲来が成功しなかった理由を、本文から二つぬき出しましょう。

トライ

鎌倉時代後期の御家人と幕府との関係の変化を、次の語句を使って説明しましょう。[徳政令/北条氏]

チェック

8とp.69 4とを比べて、共通点や異なる点を挙げましょう。

トライ

鎌倉幕府と比べた室町幕府の仕組みの特徴を、20字程度で説明しましょう。

探究のステップ

東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、日本ではなぜ多くの戦乱が起こったのでしょうか。

p.95

探究課題

中世では、どのような勢力の成長や対立が起こったのでしょうか。

p.95



先生のカリキュラム・マネジメントをサポート！  
他分野や他教科とつなげて学びを深める

地理・公民の関連ページに  
直接リンクした二次元コード

●教科書の二次元コードを読み取ると、インターネットを使って**地理や公民の関連ページの紙面を直接見ることができます。**

分野関連マーク

地理や公民の学習と特につながりの強い内容に付けています。

歴史 (p.180～181)

SCAN!



6 領土をめぐる問題の背景

歴史的に見る島々の領土 現在の日本には、歴史的に見て固有の領土でありながら、周辺諸国との間で、領土をめぐる問題をかかえる地域があります。島根県の竹島や北海道の北方領土は、それぞれ大韓民国（韓国）とロシアが不法に占拠しており、日本は抗議を続けています。また、沖縄県の尖閣諸島は日本が実効支配しており、領土問題は存在しませんが、中華人民共和国（中国）や台湾が領有権を主張しています。ここでは、こうした地域が、どのような経緯で日本固有の領土になったかを見ていきましょう。



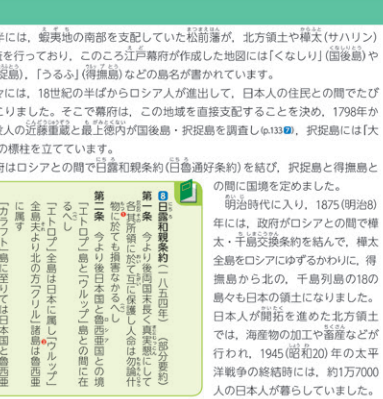
あしか猿の舞台・竹島

竹島は、日本では古くから「松島」と呼ばれており、その西にあるウルルン島（鬱陵島）が「竹島」や「磯竹島」と呼ばれていましたが、江戸時代には、現在の鬱陵島と竹島の位置が的確に認識されていました。これは、この時代に作成された地図から読み取れます。江戸時代の1618年には、島根藩の町人が、藩を通じて幕府から鬱陵島にわたる許可を得て、あびる漁やあしか猿などを行うようになりました。途中にある竹島は、航海の自印や停泊地になる一方で、鬱陵島と同様にあしか猿などが行われるようになりました。こうした中で、日本はおそらく17世紀半ばには、竹島の領有権を確立していました。竹島でのあしか猿は、明治時代の終わりがから本格化し、多くの漁民が漁を行うようになりました。こうした中、島根県民の一人が、安定した気候のために、竹島の領土編入と10年間の貸し下げを政府に願いました。これを受けた政府は、1905（明治38）年に、竹島の島根県への編入を閣議決定して、正式に「竹島」と命名し、2月に島根県知事が告示しました。こうして政府は竹島の領有権を再確認し、あしか猿は、太平洋戦争で1941（昭和16）年に中止されるまで続けられました。



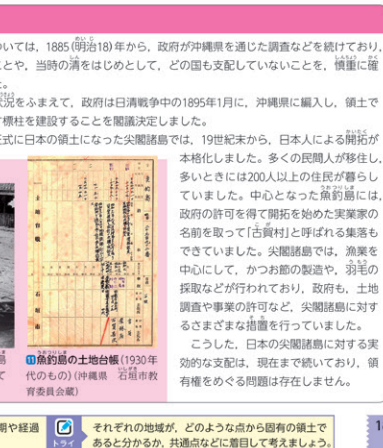
日本人の生活の舞台・北方領土

17世紀の前半には、蝦夷地の南部を支配していた松前藩が、北方領土や樺太（サハリン）についても調査を行っており、このころ江戸幕府が作成した地図には「くなしり」（国後島）や「えとほろ」（択捉島）、「うるふ」（得撫島）などの島名が書かれています。こうした島々は、18世紀の半ばからロシア人が進出して、日本人の住民との間でたびたび対立が起きました。そこで幕府は、この地域を直接支配することを決め、1798年からは、幕府の役人の近藤重蔵と最上徳内が国後島・択捉島を調査し、1813年、択捉島には「大日本恵島呂府」の標柱を立てています。1854年、幕府はロシアと間で日露和親条約（日通条約）を結び、択捉島と得撫島との間に国境を定めました。明治時代に入り、1875（明治8）年には、政府がロシアとの間で樺太・千島交換条約を結んで、樺太全島をロシアにゆずるかわりに、得撫島から北の、千島列島の18の島々も日本の領土になりました。日本人が開拓を進めた北方領土では、海産物の加工や畜産などが行われ、1945（昭和20）年の太平洋戦争の終結時には、約1万7000人の日本人が暮らしていました。



かつお節製造の舞台・尖閣諸島

尖閣諸島については、1885（明治18）年から、政府が沖縄県を通じた調査などを続けており、無人島であることや、当時の清をはじめとして、どの国も支配していないことを、慎重に確認してきました。このような状況をふまえて、政府は日清戦争中の1895年1月に、沖縄県に編入し、領土であることを示す標柱を建設することを閣議決定しました。こうして、正式に日本の領土になった尖閣諸島では、19世紀末から、日本人による開拓が本格化しました。多くの民間人が移住し、多いときには200人以上の住民が暮らしていました。中心となった角野藩には、政府の許可を得て開拓を始めた実業家の名前を取って「古賀村」と呼ばれる集落もできていました。尖閣諸島では、漁業を中心として、かつお節の製造や、羽毛の採取などが行われており、政府も、土地調査や事業の許可など、尖閣諸島に対するさまざまな措置を行っていました。こうした、日本の尖閣諸島に対する実効的な支配は、現在まで続いており、領有権をめぐる問題は存在しません。



スキルアップ 7 歴史地図を読み取ろう



相手との関係にふさわしいふるまいをする「礼」を基本にした政治をするべきだと説きました。この教えは儒学（儒教）と呼ばれ、後に朝鮮や日本にも伝えられ、人々の考えや社会の在り方に影響をあたえました。

5 秦の中国統一 紀元前3世紀には、秦の王が中国を統一する帝国を造り上げ、初めて「皇帝」と名乗りました（始皇帝）。秦は、長さ・容積・重さの基準や、文字、貨幣を統一しました。また、北方の遊牧民の侵入を防ぐために万里の長城を築きました。しかし、始皇帝の死後、厳しい政治に対する反乱が広がり、統一してわずか15年ではろびました。

10 漢の成立 秦にかわって中国を統一した漢は、紀元前2世紀には、朝鮮半島に楽浪郡などを設け、中央アジアも支配下に入れて大帝國になりました。このため、「シルクロード（絹の道）」を通して、中国から西方へは絹織物などが、西方から中国へは良馬やぶどう、インドでおこった仏教などがもたらされました。漢の時代には儒学が国の教えとされて広がり、質の良い紙も発明されました。



(p.25)

教科関連マーク

他教科と特に関連の強い内容に付けています。

新しい社会	歴史
18ページ だれだろう？ 歴史人物～古代編～	25ページ 漢字の成り立ちと移り変わり
25ページ 書写	25ページ 国語「論語」

CLICK!



書写 (p.28)

地図帳とも連携

●「新しい社会 地図」は、地理だけでなく歴史や公民の学習にも使える資料を多数掲載し、教科書準拠の社会科学資料集のようにお使いいただけます。

➡地図帳のパンフレットp.10～11



特別支援教育に多面的に対応！  
全ての生徒にとって学びやすく  
先生が指導しやすい紙面の工夫

3年度本 令和3年度発行の教科書の紙面  
28年度本 平成28年度発行の教科書の紙面

学習内容に集中できる  
フラットデザイン

- 不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、シンプルで学習内容に集中できるフラットデザインを採用しました。
- 鮮やかで明るい色を採用し、メリハリのある紙面にしました。

3年度本

3 大王の時代

28年度本

3 大王の時代

大和政権はどのように発展したのか。

大和政権の発展

先生が指示しやすく  
自学自習にも適した「図番号」

先生が授業で指示しやすいように、資料に見開きで通し番号を付けました。本文には対応する資料の番号を付け、資料と本文とを結び付けて読み取りやすくしました。

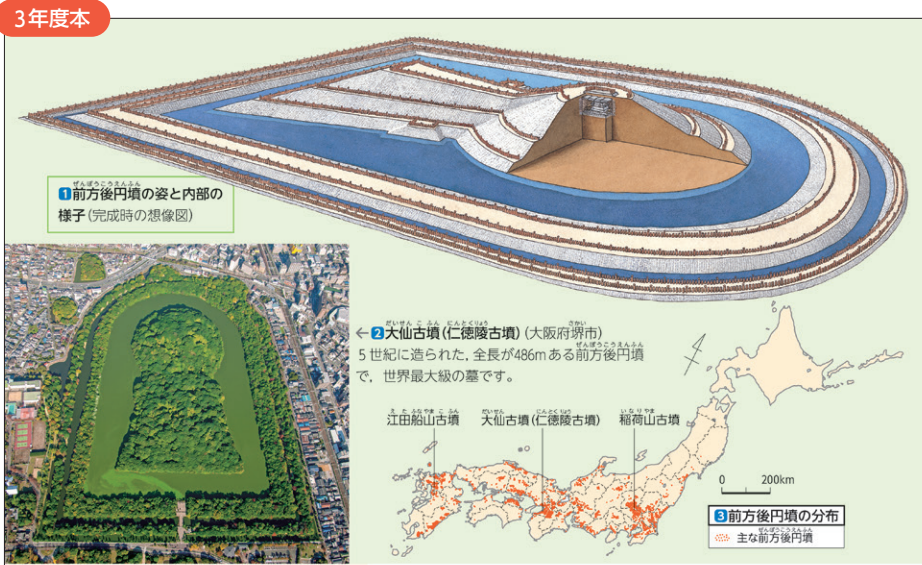
キャラクターが消えた！  
すっきりした本文ページ

学習内容に集中できるよう、本文ページからキャラクターをなくし、代わりに読み取りの視点をコーナーで明確に示しました。

28年度本

古墳が集中しているのはどんな地域かな。

世



3 大王の時代

2 大和政権はどのように勢力を広げ、中国や朝鮮半島とどのような交流をしたのでしょうか。

大和政権の発展

3世紀後半になると、奈良盆地を中心とする地域に、強大な力を持つ王と有力な豪族たちとから成る勢力(大和政権)が現れました。王や豪族の墓として大きな前方後円墳が造られ、この勢力に従った全国の豪族も、前方後円墳などの古墳を造るようになりました。古墳が盛んに造られた6世紀末ごろまでを、古墳時代と呼びます。

前方後円墳の分布などから、5世紀後半には、大和政権の王が九州地方から東北地方南部までの有力豪族を従え、大王と呼ばれるようになっていたことが分かります。

古墳時代の文化

古墳の石室と棺には、初めは銅鏡・銅剣・玉などの祭りの道具が、後には鉄製の武器や馬具、かんむりなどが納められました。古墳の表面には、多くの場合、石がしきつめられ、その上に埴輪が並べられました。このころから人々は、山や大きな岩、高い樹木に神が降りてくると考え、また農業にとって大切な川には水の神がいるものと



資料掲載部分に色付けして  
本文部分との区別を明確化

● 資料の掲載部分に薄い色を付けることで、本文との区別を視覚的に分かりやすくしました。

28年度本

古墳時代の文化

古墳の石室の壁にえがかれた絵 死後の世界をえがいたものと考えられます。(須賀川 須賀川古墳)

や死者を納めた箱 具が、後には、かれました。

人々は、太陽神 深い自然の神々のおこりや大和政権

色覚特性に配慮した紙面で  
カラーユニバーサルデザインに全面対応

- 専門家の助言をもとに色覚特性の観点から紙面や図版を見直し、カラーユニバーサルデザインに全面的に対応しました。
- グラフや地図は、色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせを採用しました。

5世紀の東アジア

7 倭王武の手紙 (部分要約) (「宋書」倭国伝)

私の祖先は、自らよろいやかぶとを身に着け、山や川を駆けめぐり、東は55国、西は66国、さらに海をわたって95国を平定しました。しかし私の使いが陛下の所に貢ぎ物を持っていくのを、高句麗がじゃまをしています。今度こそ高句麗を破ろうと思いますので、私に高い地位をあえて激励してください。

8 須恵器 (鳥取県出土 鳥取県立博物館蔵) 渡来人が伝えた、高温を出せるかまどで作られました。

9 ワカタケル大王 (武) の名を刻んだ鉄剣 (左) と鉄刀 (右: 部分)

(左: 埼玉県 稲荷山古墳出土 埼玉県立博物館蔵 長さ73.5cm、右: 熊本県 江田山古墳出土 東京国立博物館蔵 長さ90.6cm) とともに5世紀後半のものと考えられています。

10 高句麗の王の功績をたたえる好太王 (広開土王) 碑には、高句麗と新羅が、朝鮮半島にやってきた倭の軍と戦ったことが記されています。

11 蘇・珍・済・眞・武の5人の王の名が、中国の歴史書「宋書」に記されています。このうち武は、9に記された「ワカタケル大王」と考えられています。

12 渡来人が大陸から伝えたものを三つ挙げよう。

13 大和政権と大陸との交流について、次の語句を使って説明しよう。【朝貢・渡来人】

14 探究のステップに 取り組みよう (p.59)

用紙軽量化への  
取り組み

- 塗料などに工夫をし、不透明度を保ったまま紙をさらに薄くすることにより、約3.1%の本文用紙の軽量化を実現しました。

ユニバーサルデザインフォントを  
全ての文字に採用

ユニバーサルデザインに対応して開発されたフォント(UDフォント)を教科書の全ての文字に採用しました。

教科書をもっと読みやすく

帝京平成大学 教授  
田中 良広

特別支援教育(特に視覚障害教育)が専門。著書「視覚障害教育入門Q&A 新訂版」ほか

読みやすい教科書の条件は、(1)視覚情報になるべく「単純」であること、(2)必要な情報とそれ以外の情報とが区別しやすいことの2点です。(1)は、フラットデザインにすること、(2)は、ふりがなのような付加情報を、本文とはちがう濃度や色使いにすることで実現が可能です。さらに、20人に一人は何らかの色覚特性が認められることから、カラーユニバーサルデザインに関する配慮も求められます。

ふりがなの文字濃度を変えて  
本文の読みやすさを向上

- 読み取りやすさは確保しながら、本文のふりがなの文字濃度を75%にして、紙面の煩雑さを軽減することで、より見やすく、読み取りやすくなりました。

3年度本

鮮半島では、高句麗・百済・新羅が勢力を争った。

28年度本

鮮半島では、高句麗と、4世紀ごろにおこった百済、新羅が勢力を争いました。大和政権は、百済や伽耶地域

特別支援教育  
への配慮



# 現代的な諸課題の解決に 主体的に取り組む 態度を育成

## SDGsから現代的な諸課題を読み解く

歴史学習の終わりに、国連が2030年までに達成を目指す『持続可能な開発目標(SDGs)』を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養います。



**7 持続可能な開発目標 (SDGs)** エスディーゼーズ 17のグローバル目標と169のターゲット(達成基準)で構成されています。

(p.271)

## 情報と技術の役割を考える

近代以降のメディアの発達の影響や社会の変容を扱い、現代的な諸課題の解決に情報や技術が果たす役割を考えさせます。

もっと歴史

関連するページ  
0.072-1.018, 230-231

地域や公民館の  
関連ページ

# メディアの発達で日本を変えた

現代につながるマスメディアや情報環境がどのように成立したか、見てみましょう。

●ペリーが幕府に献上したモールス式電報機(東京都 郵政博物館蔵)の長さ78cm。電信とは、文字や電報の信号に置きかえて送受信する方法です。電報は19世紀初めに導入され始めました。

●電信がもたらした影響(東京市 郵政博物館蔵) 電信は、文字や電報の信号に置きかえて送受信する方法です。電報は19世紀初めに導入され始めました。

●電話交換手(1933年) 当初の電話は、回線交換機を人の手で回していました。電話交換手は女性が勤まることが多く、当時の風俗文化として受け入れられました。

## 電報・電話の導入

明治新政府の第一の課題は、政府の意向をすみやかに地方のすみずみにまで行きわたらせることでした。そのためには、国全体で情報網を作らなければならませんでした。

1869(明治2)年に、東京・横浜間で電報が通じました。これは東京・京都・大阪間で近代的な郵便が始まるより前のことでした。さらに、1871年にはデンマークの電信会社で長崎・上海間、次いで長崎・ワラジスト間(現に海底ケーブルを設置して、世界と情報の伝達ができるようになりました)。

電報の導入は欧米から大きく遅れましたが、電話の導入は欧米とほぼ同時でした。アメリカでベルが電話を発明した翌年の1877年には、いち早く日本の宮内省へ導入され、一般への実用化が始まりました。こうして、明治時代の中ごろまでは、電報・電話を基礎とした、近代的な情報網が作られました。

## 新聞・雑誌の誕生

日本初の日刊新聞は、1870年に創刊された『横浜毎日新聞』でした。しかし、このころの新聞は、本と同じ体裁をしているのが主で、10日ごと、7日ごと、3日ごととの発行が多く、雑誌との区別が不明確でした。その後、1872年に『日知』のブランクによって『日新真事記』が、続いて日本人によって『東京日日新聞』(現在の毎日新聞)が創刊されると、本格的な日刊新聞の時代に入りました。

一方、評論・解説・娯楽などの情報を提供する定期発行としての雑誌が、新聞から明確に独立したのは、1874年創刊の『明治新聞』からでした。明治雑誌の創刊には、雑誌や雑誌編集などが活躍し、欧米の思想を広める役割を果たしました。さらに1880年代後半になると、国民意識の高まりと出版社の近代化を背景に、徳富蘇峰の『国民之友』といった本格的な雑誌が登場しました。

●横濱毎日新聞の創刊号(東京都 国会図書館蔵) 洋紙に大抵の文字が印刷されました。

的な雑誌が登場し、1890年代には『太陽』や『中央公論』といった総合雑誌が相次いで創刊されました。このように、新聞と雑誌は、紙面となりの活字による送受信機能、情報を大量に伝達する新し

## いよいよメディア

### 映画・ラジオと大衆社会

第一次世界大戦後、日本で『大衆』が出現するのに応じて、メディアも大衆(大衆)を対象とする『マスメディア』として大きく発達しました。

●映画については、1910年代から20年代にかけて、浅草・新橋などの都市の繁華街に映画の娯楽施設ができました。また、1912年に日本活動写真株式会社(白芸)が創立され、このころには、映画を安定して供給できる体制が成立しました。こうして映画は、安価で手軽な娯楽として、大衆の間に定着していきまし

●ラジオについては、普通電報法成立直前の1925年3月、東京放送局(UOAK)が日本で最初の放送を行いました。翌26年には東京・大阪・名古屋の3放送局が合併されて、日本放送協会(NHK)が誕生しました。1931(昭和6)年の第1回博覧会や1932年のロンドンオリンピックで、ラジオは報道力を発揮し、聴衆者を大幅に増加させ、1944年には聴取率が全世帯の50%をこえました。

こうして、近代のマスメディアが出現し、情報環境が整いました。

→『国民之友』(1883) 日本近代文学界、民権運動の指導者として活躍した雑誌が『国民之友』でした。雑誌は、『国民之友』を通じて、政治の立場から近代化を進めるべきとする平民主義を主張したのが、この雑誌の中心人物と見ていいでしょう。

→『国民之友』(1883) 日本近代文学界、民権運動の指導者として活躍した雑誌が『国民之友』でした。雑誌は、『国民之友』を通じて、政治の立場から近代化を進めるべきとする平民主義を主張したのが、この雑誌の中心人物と見ていいでしょう。

●日本初の本格的な音声放送(トーキー)『マダムと女男』(1931年上旬) トーキーとは、音源入りの録音のことです。それまでの映画は無音(サイレント)で、発音士と呼ばれる人たちが、内容を口で表現し、観客を導いていました。

## マスメディアと政治

映画やラジオといった、映像や音声を伝えるマスメディアは、新聞や雑誌といった印刷物のマスメディア以上に、短期間で広く普及しました。このように、マスメディアをもっと活用して、大衆(国民)としての一体感をあたえようとする政治者も現れました。特に1930年代後半の日中戦争以降になると、政府がマスメディアの有用性を目撃して、日本の大衆を団結し、国民を教育するのにも広く利用するようになりまし

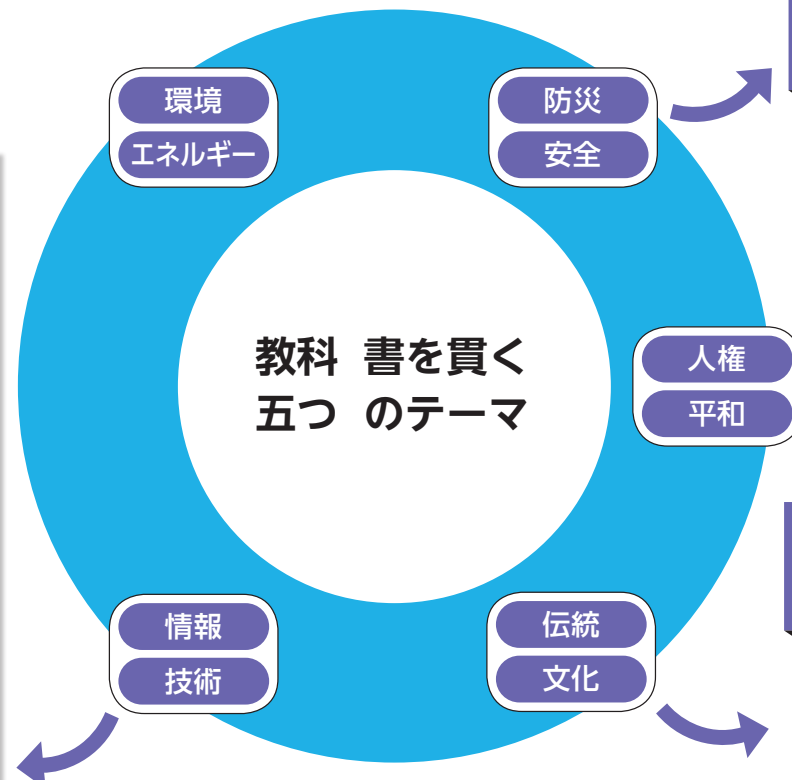
198

●から、現在の新聞と共通する点と異なる点を探してみよう。

●から、現在の新聞と共通する点と異なる点を探してみよう。

199

(p.198 ~ 199)



防災・安全の意識を高める

さまざまな教訓を残し、社会の変革をもたらした歴史上の災害を学ぶことで、災害を防ぐうえでの、生徒の主體的な防災・減災への意識を高められます。

# もった歴史

## 震災の記憶を語りつく

震災の記憶をどのように次世代に語りついでいけばよいのか、考えてみましょう。

599 (明治7)	大和地方で地震 (日本最古の地震被害の記録)
869 (前醍醐1)	南紀三陸沖地震、三陸沿岸で津波被害
1293 (永享5)	鎌倉地震、死者2万3000人あり
1498 (応永6)	明使地震、伊豆から伊勢で津波被害
1605 (慶長15)	奥州地震、高田・高尾、房総から九州南部で津波被害
1703 (元禄10)	元禄地震、房総から伊豆で津波被害
1707 (宝永4)	宝永地震、伊豆から九州南部で津波被害、死者2万4千人以上
1854 (安政元)	安政東海・南海地震 (p.139)、房総から豊後で津波被害
1891 (明治24)	明治地震、死者7273人
1896 (明治29)	三陸三陸沖地震、北海道から宮城で津波被害、死者2万1999人
1923 (大正12)	関東大震災 (p.210)、死者・行方不明者10万5385人
1933 (昭和8)	昭和三陸沖地震、三陸沿岸で津波被害、死者・行方不明者3064人
1946 (昭和21)	昭和南海地震、静岡から九州で津波被害、死者1330人
1995 (平成7)	阪神・淡路大震災 (p.202)、死者・行方不明者6437人
2004 (平成16)	新潟県中越地震、死者68人
2011 (平成23)	東日本大震災 (p.202)、死者・行方不明者2万2199人
2016 (平成28)	熊本地震 (p.270)、死者50人
2018 (平成30)	北海道胆振東部地震、死者41人

●日本の震災の歴史 (『理科年表』2019年10月号)



**稲むらの火の館**

稲むらの火の館 (和歌山県山田町)

資料：地震に関する書籍、震災の歴史、震災の記憶を語りついでいけばよいのか、考えてみましょう。

### 【稲むらの火】

1854 (安政元)年11月4日 (前幕で12月23日) に起こった安政南海地震は、駿河湾から遠州灘沖を震源とする海底地震で、マニチュードは8.4、東南海地震を中心に甚大な津波被害をあたえた。安政東南海地震から33年経過後は、紀伊半島から四国沖を震源とする安政南海地震も発生しました。

この地震の歴史を参考に次のような物語が創られました。このとき、紀伊宮内由部広村 (現在の和歌山県有田郡広川町) の海岸の家から海をのぞいてみた稲むらは、波が急に引いたのに気付いて津波の危険を察し、自分の家の、また稲むらの実が付いているわらに火を点け、その火で村人に高台への避難道を指示し、津波の被害を減らしたという物語です。

満口稲穂の精神と教訓を学び、受けつぐために、2007 (平成19) 年4月、『稲むらの火の館 (満口稲穂記念館・津波防災教育センター)』が造られました。

### 【此処より下に家を建てるな】

若手県庁の隣りには、1896 (明治29) 年と1933 (昭和8) 年の三陸沖地震による大津波、そして2011 年の東日本大震災による大津波など、津波の被害を何度も体験した地域です。宮古市津波災害地区に建てられている若手県は、「此処より下に家を建てるな」と書かれています。これは1933年の大津波で大きな被害を受け、生き残った人々が建てたものです。東日本大震災の津波到達点はこの石碑の約50m手前で、これより奥にあった集落までには至らず、建物被害はありませんでした。その後、東日本大震災の津波到達点にも、石碑が造られました。

### 東日本大震災の記憶を伝える取り組み

2011年3月11日の東日本大震災では、若手県・宮城県・福島県・茨城県などの広い範囲で大きな被害が出ました。被災地では、復興に向けて、その記憶

を語りついで取り組みが続けられています。

### ●【命でんでんこ】 (若手県宮古市)

震災時に津波被害を受けた若手県宮古市立由部第一中学校の生徒たちは、震災直後から復旧・復興ボランティアとして積極的に協力しました。2013年には、震災当時の在校生130人全員が執筆した津波体験作文集を発行し、また、校舎の指図板に震災資料展示室「ボイジャー」を開設しました。震災当時2年生だった加藤太志さんは、作文集に、次のような文章を残しています。

### ●【命でんでんこ】 (部分)

僕はがれきの中を歩かながら思ったことが二つある。一つは「命でんでんこ」という言葉の真の意味。命よりも大切なものはありません。どんなことがあっても守ることを考えてください。命があればどうにもなりません。未来に向かって歩き出せます。

もう一つは、負けたくないと思ったことです。由部は今でも何度も津波の被害にあい、それを乗り越えてきたのです。(中略)

震災あの日をのこる人々に伝えたい。命を大切にしようと思ひたい。そして、決して諦めずの未来を作りたい。

(『いのち—若手市立由部第一中学校津波体験作文集』)

### ●【開上の記憶】 (宮城県東松市)

宮城県東松市開上地区には、「開上の記憶」という施設があります。これは、津波で犠牲になった14人の開上中学校の生徒を慰念するとともに、地域の大変な「記憶」を整理するための場所として造られたものです。津波被害についての展示や語り部活動などを通じて、訪れる人に開上地区の「記憶」を伝えとともに、地域の人々の情報交換の場となっています。

### ●【ふるさと創造学】 (福島県双葉郡)

「ふるさと創造学」は、「震災子どもたちが得た経験を、生きる力に」との思いから、福島県双葉郡の町内7町村の学校が取り組んでいる総合的な学習の時間」の総称です。各町村の子どもたちは、東日本大震災にもう一度復旧に向けた地域への取り組みの経験に基づき、ふるさとの将来に向けての提案を考え、ふるさとの人や世話をした避難地域の人々に元気を発信し続けています。



**震災資料展示室「ボイジャー」** (若手県 宮古市立由部第一中学校)



**開上の記憶 (宮城県東松市)**



**ふるさと創造学サミットの様子 (福島県東松市 2018年)**

身近な地域で経験した自然災害。その際の人の営み、その後、復興に向けて歩んでいく。

復興の記憶を語りついで、後世に伝えるために、自分ができることを考えよう。

274

275

(p.274 ~ 275)

## 日本の国宝・重要文化財

日本にはさまざまな文化財があります。そのうち歴史的・芸術的・学術的な価値の高いものは「重要文化財」(○)に、その中でも特に価値の高いものは「国宝」(◎)に指定されています。2019年3月現在、重要文化財は1万3232件、うち国宝は1116件が指定されており、ここではその一部を紹介します。

**①金銅土師王**(青森県出土 八戸市 歴史文化財センター-通川縄文館蔵 高さ19.8cm) 縄文時代のたて穴住居から発見され、当時は赤くぬめっていたと考えられています。

**②白木阿弥陀寺**(徳島県いまいわき町) 平安時代末期に、当時の浄土信仰に基づいて、奥平藤原氏の願によって建てられたと伝えられる阿弥陀堂です。

**③源氏物語絵巻**(奈良県 朝倉藤子寺蔵・京大国立博物館) 平安時代末期に作られた絵巻物で、命蓮という僧の物語がえがけています。写真は、命蓮が神通力で飛ばした鉢を、意を棄せて命蓮のもとへと飛んでいく場面です。

**④松本城天守**(長野県松本市)、**⑤上田山城天守**(愛知県犬山市)、**⑥彦根城天守**(滋賀県彦根市)、**⑦松江城天守**(島根県松江市) 日本には江戸時代までの創建当時の天守を残している城が12あり、そのうちこれら四つを「關城城址11」が国軍に指定されています。

**⑧姫路元光寺五重塔**(山口市) 室町時代の1442年に、南防(山口県)の守護大名だった大内氏によって造られた。

現代的な課題への対応

16

(卷頭1)

17








つまずきポイントの理解を助けて学力向上！  
豊富なデジタルコンテンツ

東京書籍が実施する「標準学力調査」で正答率が低く、生徒がつまずきやすい学習内容の理解を助けるために、デジタルコンテンツ(Dマークコンテンツ)を豊富に用意しました。

**「Dマークコンテンツ」とは？**

 この「Dマーク」を示した箇所では、シミュレーションや動画など、**学習への興味・関心を高めることができる「Dマークコンテンツ」を用意しています。**教科書5ページのURLが二次元コードからアクセスでき、**生徒の家庭学習でも活用できます。**

こちらの二次元コードからも、全てのDマークコンテンツをご覧になれます。



**学力調査の傾向①**

時代区分についての理解がつまずきポイントになっており、例えば、年表から時代の順番を問う問題の正答率は、**63.8%**でした。  
(2019年 標準学力調査 1学期+版 中学社会2年)


**学力調査の傾向②**


江戸時代の鎖国についての理解がつまずきポイントになっています。鎖国中の日本と朝鮮の関係を問う問題の正答率は、**46.7%**でした。  
(2018年 標準学力調査 3学期+版 中学社会2年)

**つまずきに対応したDマークコンテンツで学力を向上させます**


**Dマークコンテンツ**

**②世紀**


西暦の  年ごとに区切る年代の表し方です。



時期や年代の表し方

 **時期や年代の表し方**

シミュレーションを通して、時期や年代の表し方の基礎的・基本的事項を身に付け、練習問題で、確実に定着を図ります。



**Dマークコンテンツ**

江戸幕府の外交政策について答えましょう。


鎖国下において、長崎が窓口となって、貿易を行った相手は、次のうちどれですか。

問題2/11


1 琉球

2 朝鮮

3 オランダ

 **鎖国下の窓口**

教科書に掲載している地図を使って鎖国について確認し、練習問題で、四つの窓口と貿易相手との関係を定着させます。



特別支援教育への対応など、充実した機能が満載！  
デジタル教科書・教材①

中学校デジタル教科書・デジタル教材のご紹介▶



学習者用デジタル教科書

文部科学省は、2019年末に「GIGAスクール構想」を打ち出し、ハード・ソフト・指導体制一体でのICT教育の充実を推進しています。東京書籍は、令和3年度用中学校教科書の全発行書目において「学習者用デジタル教科書」を発行します。

- 1 複数の教科を一括管理**

東京書籍をはじめ複数の発行者が採用するビューア「Lentrance Reader」を用いています。**さまざまな教科・教材を一括管理**できます。
- 2 学習を支える便利な機能**

教科書に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。学習記録としてそのまま保存することもでき、生徒の主体的な学びを支えます。また、**教科書のDマークをクリックして、連携するデジタルコンテンツ**を利用することができます。
- 3 特別支援教育への対応**

文字の色や大きさ、行間などを読みやすいように調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書きで表示したりする機能は、弱視や発達障害のある生徒だけでなく、**急増する帰国・外国人生徒など、日本語を読むことが苦手な生徒の学びを助けます。**



古墳の石室と石かんには、初めは銅鏡・銅剣・玉などの祭りの道具が、後には鉄製の武器や馬具、かんむりなどが納められました。古墳の表面には、多くの場合、石がしきつめられ、その上に埴輪が並べられました。

文字色や大きさ、背景色を自由に変える機能があります！

※これらの商品は企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。



# 特別支援教育への対応など，充実した機能が満載！ デジタル教科書・教材②

## 「新しい社会 歴史」学習者用デジタル教材

動画やシミュレーションなど，生徒一人一人の主体的・探究的な  
学びに有効なコンテンツを多数収録しています。

### ●デジタル教科書+教材一体型

教科書と教材(コンテンツ)が一体と  
なっています。教科書上に配置されたボ  
タンから関連するコンテンツを呼び出す  
ことができます。

### ●教材単体

教材(コンテンツ)のみを収録していま  
す。「学習者用デジタル教科書」が先に導  
入されている場合に，追加して「学習者  
用デジタル教材(教材単体)」を導入して  
いただくと，自動的に教科書と教材がリ  
ンクし，連動させてお使いいただけます。



## 指導者用デジタル教科書(教材)

### ●デジタル教科書+教材一体型

電子黒板を使用した指導に最適な提  
示型教材です。多様なコンテンツを収  
録しており，教科書上の写真や図版，  
アイコンなどをクリックするだけの簡  
単な操作で利用できます。また，教科  
書の素材や関連するコンテンツを使っ  
てオリジナル教材を作成できる「MY教  
科書エディタ」機能も搭載しています。



# 先生のご指導や生徒の学びを支える 教師用指導書・教科書準拠教材

## 「新しい社会 歴史」教師用指導書・付属DVD-ROM

授業展開や評価のポイントなど役立つ情報満載の「指導展開編」

- 全国の先生方の授業実践の成果を積極的に取り入れ，実際の授業を想定した展開や，指導・評価のポイントを具体的に示しました。
- 「指導展開編」では，教科書での1単位時間の展開例に，学習課題の提示場面や，予想される生徒の反応を示し，初任の先生でも授業展開を具体的にイメージできるようにしました。また，「指導書の使い方」ページを新設しました。
- 「問い」を軸にした単元の構造化を視覚的に捉えられる，「問いの構造図」を単元ごとに掲載しています。

### 特別支援教育に対応した 付属DVD-ROM

- 教師用指導書付属のDVD-ROMに，総ルビ・分かち書きで表示された教科書紙面PDFを収録し，日本語を読むことが苦手な生徒の学びや，特別支援教育に対応しています。

### ●DVD-ROMに収録される 主なコンテンツ(予定)

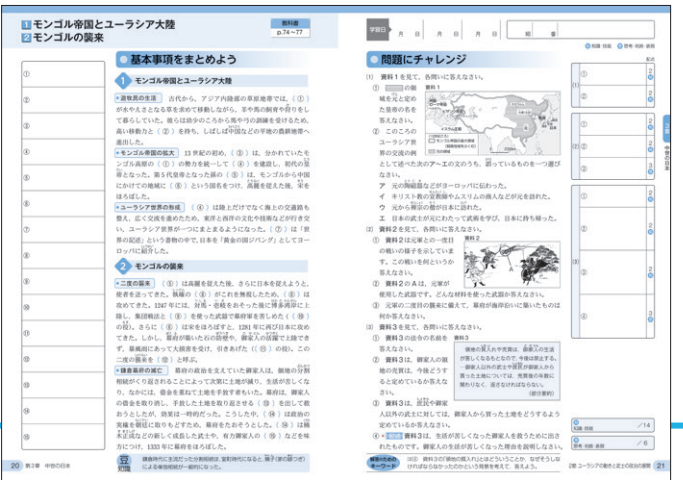
- ・年間指導計画
- ・評価問題
- ・教科書本文テキスト
- ・教科書図版集
- ・ワークシート
- ・総ルビ・分かち書きの教科書紙面PDF

指導展開編のイメージ▶



## 「新しい社会 歴史」基礎・基本徹底ワーク

- 教科書の章・節での学習の流れに沿った構成と，教科書に掲載している本文や図版を使用した問題で，基礎・基本を無理なく定着させます。
- 「基本事項をまとめよう」→「問題にチャレンジ」→「演習問題」→「総合問題」の流れで，基礎・基本の内容をくり返し学習でき，実践的な力も身に付きます。
- 「問題にチャレンジ」「演習問題」「総合問題」では，小問ごとに評価の観点のどれに該当するかを明示し，日常的な評価にも活用できます。



※これらの商品は企画中のため，内容・仕様が変更になる場合があります。